



「活力と安心」により明日の長野県を拓く^{ひら}

長野県知事 村井 仁

一昨年後半からの世界経済の急速な悪化は、輸出型の製造業に依存するところの大きい長野県経済に深刻な打撃を与えており、多くの県民が県内経済の停滞を感じ、将来に不安を抱くに至っております。

今の社会に漂う閉塞感を打破し、県民が地域の将来に希望を持つためには、確かな展望の下、県民の暮らしの安心と向上を図ることが何にも増して大切と考えます。

県政運営の基本姿勢

県民の安心は、福祉の向上、教育の充実、医療の確保、環境の保全、治安の維持、さらには生命を守る「減災」対策など生活に直接かかわる仕事を住民に身近な地方自治体が責任を持って担うことによってもたらされます。厳しい財政状況の下にあっても、これらの根幹的な課題に的確に対応し、地方自治体としての使命を果たしていかねばならないと考えております。

県民の暮らしを支えているのは、長野県の力強い産業です。景気の先行きが不透明な今こそ、地域経済が活力を取り戻し、県民の暮らしが向上していくことが重要であります。このため、「一昨年以来、「長野県緊急経済対策」及び「長野県新経済対策」を実施し、将来も見据えながら、県内経済の安定と雇用の確保に努めてまいりました。幸いなことに長野県には、ものづくり産業など長年にわたって蓄えられた技術の集積や豊かな自然環境など、豊富な地域資源があります。これらの潜在的な力を開花させ、現在の厳しい状況を将来の飛躍への契機とするべく引き続き知恵を出し、力を注いでまいります。

平成二十二年度当初予算の特色

厳しい財政状況が続く中ではあります

が、平成二十二年度一般会計当初予算は、喫緊の課題である景気や雇用への対策などに積極的に取り組むため、前年度比二・五％増の八千六百十五億円となっております。

具体的には、安全で質の高い医療の確保や増高する社会保障関係費への対応、新卒未就職者等の就業対策といった直面する課題についての確に対処し、現在の「暮らしの安心」を確保するとともに、産官学連携による研究開発を支援するなど地域経済の活性化に積極的に取り組み、将来に向けた「活力あふれる地域づくり」を推進することにより、明日の長野県を拓いていくことを目指しています。

また、社会福祉施設や病院などの生活に身近な社会資本の整備、老朽化が進む橋梁の長寿命化など既存の社会資本の有効活用にも積極的に取り組んでおります。

なお、健全財政を維持するため、予算編成に当たっては、県債の発行をできるだけ抑制するとともに、財政調整のための基金の取り崩しも最小限にとどめるなど、持続可能な財政構造の構築を目指すとともに、「選択と集中」の考え方を徹底し、事業を厳選の上、必要な施策に財源を重点的に配分しました。

信州の魅力発信

長野県では、豊かな自然や貴重な伝統文化など信州の魅力の発信に努めています。

本年四月には、東京都内のコンビニエンス・ストアの一角にアンテナショップ「おいしいさんぽ信州」がオープンし、都心でも県内の特産品の良さを知っていただけるようになりました。また、長野県魅力発信「身近に・手軽に・旬のうちに感じていただけるよう」「長野県魅力発信プログラム」を通じて、自然や食、森林づくりなど多くの情報

を発信してまいります。

今春、七年に一度の諏訪大社御柱祭が開催され、全国から多くの観光客に訪れていただくことができましたが、本年十月からは三ヶ月間にわたり、JRグループや県内市町村などと連携して行う誘客活動「信州デスティネーションキャンペーン」(注)を展開します。「未知を歩こう。信州」がキャッチフレーズのこのキャンペーンにおいて、自然、歴史、文化、食など未だ知られていない信州の新しい魅力やゆつくりと歩く旅行スタイルを提案し、県内での旅の長時間化や周遊化を促進してまいります。

(注)デスティネーションキャンペーン(DC)とは、Destination(目的地・行き先)とCampaign(宣伝)の合成語。



信州DCイメージキャラクター
アルクマ

信州だけに出没する、大変珍しいクマ。
クマなのに寒がりて、いつも頭にかぶりもの。
クマなのに旅好きで、いつも背中にリュックサック。
信州をクマなくあるきまくり、信州の魅力を世の中にクマなく広めるのが生きがい。